

カニはどうして横よこに歩あるくの

足あしの関節かんせつのむむきで歩あるきやすい方ほう向こうが決きまる

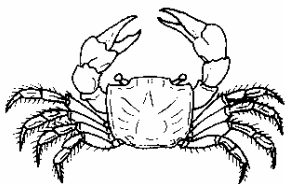
カニは歩あるくための足あしが左さ右ゆうに4本ほんずつ、合ごう計けい8本ほんあります。1本の足あしは、どれも7つの節ふしがあり、その節ふしのところを曲まげて、カニは動うごき回まわります。横よこにはうカニは、この曲まがる部分ぶぶんである節ふしが、横よこに歩あるくようにしか折おり曲まげできないようになっています。

人にん間の足あしのひざの関節かんせつは、前まえに歩あるくように曲まがりますから、後うしろ向むきに歩あるこうとしたり、横よこ歩あるきをしようとすると、とても歩あるきによこくくなります。ふつうのカニが歩あるきやすいのは、横よこ方ほう向こうなのです。

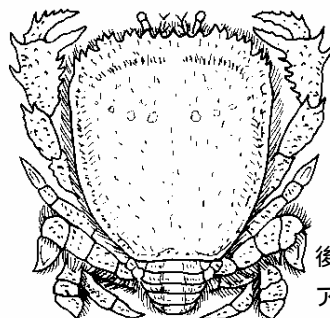
前まえに歩あるくカニもいる

カニも、種しゅるい類れいによっては前まえに歩あるくものがいますし、ゆっくり歩あるくときは、前まえに歩あるけるカニも多おほいのです。体からだの形かたちが横よこに長ながいカニの仲なか間は、横よこ歩あるきするものが多おほく、アカテガニやイソガニ、ベンケイガニ、イワガニ、モズクガニなどがいます。体からだの形かたちが縦たてに長ながいカニの仲なか間は、縦たてに歩あるくものが多おほいようです。食たべられるカニであるアサヒガニや、ビワガニなどは、縦たてに長ながい体からだつきをしていますが、横よこに歩あるかず、後あとずさりし、すぐ砂すなにもぐる名めい人じんです。

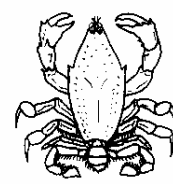
(監修・安部 義孝)



横歩よこきする
アカテガニ



後ずさりうしろがうまい
アサヒガニ



ビワガニ

